

第5回
JBG トライアルカップ

プログラム

日 程： 令和7年3月15日(土) ～ 3月16日(日)
場 所： JRA 馬事公苑
主 催： 日本社会人団体馬術連盟

第5回 JBGトライアルカップ 実施要項

1. 大会名： 第5回 JBGトライアルカップ
2. 主催： 日本社会人団体馬術連盟
3. 開催日： 令和7年3月15日(土)～16日(日)
4. 開催場所： JRA馬事公苑（東京都世田谷区上用賀2-1-1）
5. 競技種目：
 - 3月15日(土)
小障害飛越競技(60cm)、(80cm)
 - 3月16日(日)
小障害飛越競技(60cm)、(80cm)
6. 出場資格
 - (1) 小障害飛越競技(60cm)は、日本社会人団体馬術連盟 騎乗者資格 C グレード以上の保有者であり、各団体の責任において出場して問題無いレベルであると認めた部員。
小障害飛越競技(80cm)は、日本社会人団体馬術連盟 騎乗者資格 B グレード以上の保有者であり、各団体の責任において出場して問題無いレベルであると認めた部員。
 - (2) 馬匹の馬装と手入れが問題なくできること。
 - (3) 何らかの傷害保険に加入していること。
 - (4) 過去3年、JBGファイナル(障害選手権)、キャロットステークスJBGキャロット選手権(障害)で上位3位までの入賞が無い選手。実業団戦は選手として準々決勝以上に出場していない選手。
7. 競技形式
 - (1) 競技方法

競技規定は、最新の国際馬術連盟障害飛越競技会規程及び日本馬術連盟競技会規程を採用する。3 反抗失権とし、基準タイムの設定など一部ローカルルールを採用する。使用予定馬が故障などにより使用不能となった場合は予備馬による走行を行う。ただし、馬匹の故障が選手に起因すると思われる場合には、当該選手の再走行を認めない場合がある。

 1. 主催者が事前に割り当てた馬匹に騎乗してコースを走行し、その成績によって勝敗を決する。
 2. コースは、以下の構成とする
60cm クラスは高さ60cmまでの単一の垂直障害で構成される。
80cm クラスは高さ80cmまでの単一障害、もしくは幅100cmまでのオクサー障害で構成される。
 - (2) 順位の決定方法
 1. 減点の少ない者を上位とする。
 2. 減点と同点の場合は、走行タイムの基準タイムとの差の絶対値の少ない者を上位とする。

3. 以上で決まらない場合は、同位とする。

8. 表彰

(1) 各クラスそれぞれ、上位 3 名を表彰する。

9. 注意事項

- (1) 参加者・馬取扱者・観覧者の事故疾病について、主催者は応急処置をするが、その責は負わない。
- (2) 出場者数及び馬匹、その他の理由により、やむを得ず要綱及び日程等の一部を変更して実施する場合もある。競技の詳細等については、当日の打ち合わせにおいて説明するので、注意すること。
- (3) 準備運動は 3 分 2 飛越以内とする。飛越回数オーバーは失権、逆標旗飛越については都度罰金 3 万円を課す。
- (4) 服装は FEI 規定を適用し、騎乗中はいかなる者も常に乗馬競技用ヘッドギアを適正に着用することを義務付ける。また、安全のため、エアバッグ式ベストなどのプロテクターの着用を義務付ける。
- (5) 拍車は丸又は棒拍とする。馬匹提供団体および審判長の指示により、着用を認めないこともある。
- (6) 競技の参加について、重複エントリーは認めるが、エントリー数が多い場合は団体や参加者の調整を行う場合がある。
- (7) 今大会では選手の乗り替わりや練習障害の補助など、選手のサポートが必要です。また、落馬で怪我をした場合にもサポートが必要になります。そのため競技に参加される選手は、参加団体から最低 1 名の馬取扱者を競技補助役員として出すこととする。どうしても協力者がみつからない場合は人件費確保のため 10,000 円を連盟に支払う。なお、馬取扱者は馬装や曳き馬の際は必ずヘルメットを着用すること。馬取扱者の拘束時間は、3 月 15 日(土)は 13:00～17:00、3 月 16 日(日)は 8:00～12:00 とする。馬取扱者は団体からの選手のサポートとなるため交通費、日当、お弁当の支給はありません。

以上

日本社会人団体馬術連盟 加盟団体

(2024年10月15日 現在)

【正会員団体】 17 団体

伊藤忠商事(株)相互会乗馬部	TOPPAN エッジ(株)馬術部
梅村建工(株)馬術部	日本アイ・ビー・エム(株)馬術部
クリエイティブテクノロジー乗馬愛好部	パナソニック(株)馬術部
警視庁馬術クラブ	パナソニックシステムネットワークス(株)馬術部
皇宮警察本部	富士通(株)馬術部
社会人昭和大学ライディングチーム	防衛省乗馬同好会
衆議院乗馬会	三井物産(株)乗馬部
SOMPO ホールディングス馬術部	レッキス工業(株)馬術部
都庁・特別区乗馬部	

【準会員団体】 12 団体

青波馬術愛好会	新潟市馬術協会社会人愛馬会
F.R.C. book farm	日本知的財産協会馬術部
オリックス乗馬部	日本電気保安協会馬術部
グーグル馬術部	(株)日本馬事普及馬事研究部
ソニー馬術部	(株)三菱総合研究所馬術部
TMG 乗馬同好会	税理士法人山田&パートナーズ乗馬同好会
中部国際空港馬術部	LINE ヤフー乗馬部

馬のウェルフェアのための馬スポーツ憲章



国際馬術連盟(FEI)は、国際的な馬スポーツに係わるすべての者が、FEI馬スポーツ憲章を遵守し、いかなる場合にも馬のウェルフェアが最優先され、決して競技の勝敗または商業的な影響を受けてはならないことに同意し、これを受け入れることを求めるものである。

1. 競技出場への準備段階や競技馬の調教段階のいずれの時点においても、馬のウェルフェアが他のどのような要求よりも優先されなければならない。
2. 競技馬と選手は競技出場の許可を得る前に、コンディションが良好で競技参加にふさわしい状態にあり、健康状態も良好でなければならない。
3. 競技会が馬のウェルフェアを損なってはならない。
4. 競技参加後の馬が十分な手入れをされること、また現役を退いた馬が人道的な扱いを受けるための最大限の努力をしなければならない。
5. FEIは馬術スポーツに係わるすべての者が、競技馬のケアおよび管理に関連する各々の専門分野において、可能な限り高いレベルに到達するよう推進する。

FEI CODE OF CONDUCT FOR THE WELFARE OF THE HORSE - FEI

https://www.equitation-japan.com/about_02.html

FEI馬スポーツ憲章 - 日本馬術連盟

http://www.equitation-japan.com/library/library_regulation/016_sports_kensyou.pdf

基本原則と理念 - 日本社会人団体馬術連盟

<http://www.jbg.jp/about/principle>

<< 必読 >>

社会人 貸与馬戦の心得

ウィークエンドライダーが中心の社会人にとって、誰が乗るかわからない競技に大切な馬を貸してくださる乗馬クラブや大学は、とてもありがたいものです。また、これらの馬がいなくなれば、我々の競技会は1試合も成り立ちません。皆様が、一戦一戦大切に乘ってくださることで、貸して下さる乗馬クラブや大学との繋がりも広がります。社会人だからこそ、皆様の良識と経験を頼りに競技会を開催しておりますが、以下の点につきまして特に皆様のご理解を頂きたいと思えます。

1. 馬を大切にしてください。
馬は、1回限りの使い捨て自転車ではありません。会ったこともない自分のために、力を尽くして競技してくれるのです。自分の馬と同じように扱い、丁寧に乗りましょう。その場の成績に目がくらんで、行き過ぎた騎乗をしないように気遣いましょう。
2. 貸して下さる団体の方に挨拶を。
参加費を払っていても、馬を借りることには変わりありません。馬にもそうですが、貸して下さる方にも、乗る前の「よろしくお願いします」乗った後の「ありがとうございました」の一言を忘れずに。競技の結果で挨拶が変わるようでは社会人の名が泣きます。
3. 馬の悪口を言わない。
競技はミズモノです。常に誰かが負け、誰かが勝ちます。原因はあなたかも知れないし、馬かも知れない。単に折り合いが悪いのかも知れないし、運が悪かったのかも知れない。どんな結果でも、次へつながるものへとしたいですね。「勝てば馬のせい、負ければ自分のせい」は全世界共通の馬乗りの基本です。ましてや、借りている馬に対し悪くいうのはもってのほか。品位を疑われてしまいます。
4. 最後まで面倒を見ましょう。
馬装を目の前でしていても前でぼーっと見ていたり、汗だらけの馬をそのまま渡したりせず、競技時間の許す限りは最優先で馬の面倒を見ましょう。どこの、誰の馬でも、その時に自分が乗ったら、手入れまでが自分の責任です。できない場合には、一言、やったださる方に断りましょう。「社会人に貸すと馬ピカピカにして返してくれるんだよな」こんな言葉がいつか聞けるといいですね。

お互いに気持ちよく、楽しく競技をしたい、というのは、共通の願いだと思います。社会人競技のこれからの発展のためにも、皆で協力していきましょう。一人一人の小さな行動が、社会人馬術の未来へつながっているのです。ご協力に心より感謝いたします。

日本社会人団体馬術連盟 (社馬連/JBG)

- Japan Business Group Equestrian Federation -

〒104-0033 東京都中央区新川 2-6-16 馬事畜産会館 4 階

TEL: 03-3297-5630 FAX: 03-3297-5636 E-mail: shabaren@jbg.jp

Homepage: <https://jbg.jp/> <https://www.jbg.jp/> - 加盟団体募集中です

Twitter: <https://jbg.jp/t> https://twitter.com/JBG_Shabaren - 最新情報や馬に関するつぶやき

Facebook: <https://jbg.jp/f> <https://www.facebook.com/JBG.Shabaren> - 最新情報はこちらからも

YouTube: <https://jbg.jp/y> <https://www.youtube.com/user/JBGShabaren> - 大会中継・録画動画

Instagram: <https://jbg.jp/i> https://www.instagram.com/jbg_shabaren/ - 写真なども